

海綿状血管腫に対するプロプラノロール療法

乳児血管腫に対するプロプラノロールの有効性が報告され、日本国内でも2016年7月4日に乳児血管腫治療薬としてプロプラノロール塩酸塩のシロップ製剤（商品名ヘマンジオールシロップ小児用0.375%）が認可されました。一方頭蓋内の海綿状血管腫に対するプロプラノロールの有効例も少数ではありますが、報告されています。体表の乳児血管腫と頭蓋内の海綿状血管腫は異なる病変ではありますが、プロプラノロールの血管収縮作用、細胞増殖抑制作用、血管新生抑制作用、アポトーシス誘導作用が乳児血管腫と同様に海綿状血管腫にも有効に作用すると推察されています。

現在海綿状血管腫に対する有効な治療法としては手術加療がありますが、機能領域や深部病変、静脈性血管腫合併症例など手術困難例が多く存在します。海綿状血管腫に対するプロプラノロール療法は過去の報告から安全性も高く有効であり、期待が持てる治療と判断しました。この度、当院倫理委員会での承認を得ることができたため、保険適応外での使用に当たりますが、当院で海綿状血管腫に対するプロプラノロール療法を受けることが可能となりました。

気管支喘息の既往のない手術加療困難な海綿状血管腫の患児に対し、外来で循環器内科に不整脈、心機能の評価を依頼し、問題ないと判断した症例を対象とします。治療に同意を得たのち、入院の上、プロプラノロールを1日1mg/kgから開始し、2日以上の間隔をあけて1mg/kgずつ増量、1日3mg/kgで維持する予定ですが、状態に応じて適宜増減します。その後は外来にて4週間に1回副作用のチェックを行い、6か月間投与を行い終了する予定です。

連絡・問い合わせ

兵庫県立こども病院 脳神経外科 阿久津まで

TEL: 078-945-7300（代表）

e-mail: akutsu_kch@hp.pref.hyogo.jp